

ハザードマップについて

ハザードマップは、洪水・土砂災害・津波を対象に、災害が発生するおそれのある危険区域を地図上に示したものです。ハザードマップに示されていない危険区域においても、被害が発生する可能性があるため、周囲の状況や防災気象情報に注意して、早め早めの行動を心がけてください。

洪水浸水想定区域

想定最大規模(L2)

長崎県より作成された、「想定し得る最大規模の降雨」により河川が氾濫した場合の浸水範囲、浸水した場合に想定される水深を示したものです。

| | | |
|------------|--|------------------------------|
| 対象となる河川 | 郡川水系郡川 | 大上戸川水系大上戸川、 内田川水系内田川 |
| 想定的前提となる降雨 | 流域全体に24時間総雨量 850mm、ピーク時の1時間に 156mmの降雨がある場合 | 大上戸川及び内田川流域 12時間の総雨量935mm |
| 作成主体 | 長崎県県央振興局 | 長崎県県央振興局 |
| 作成年月 | 平成30年8月 | 平成31年3月 |

浸水深の目安

| | |
|--|-------------------------------|
| | 浸水深0.3m未満 |
| | 浸水深0.3m以上0.5m未満 (大人の膝ぐらまで) |
| | 浸水深0.5m以上1.0m未満 |
| | 浸水深1.0m以上3.0m未満 (2階床下ぐらまで) |
| | 浸水深3.0m以上5.0m未満 (2階軒下ぐらまで) |

家屋倒壊等氾濫想定区域

想定最大規模の洪水浸水想定区域をもとに、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が予想される区域を示したものです。

氾濫流による家屋倒壊等



木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う激しい流れが想定され、早期の立退き避難が必要な区域

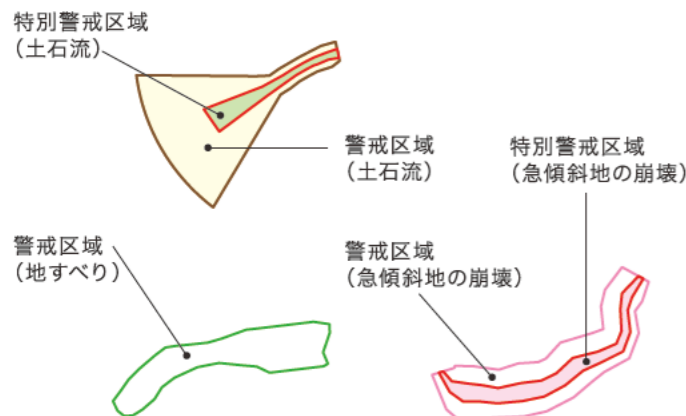
河岸侵食による家屋倒壊等



堤防や家屋の基礎を支える地盤が激しい川の流れて削られることによる家屋の倒壊が想定され、早期の立退き避難が必要な区域

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

長崎県が令和3年3月現在で告示している「急傾斜地の崩壊」、「土石流」、「地すべり」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。

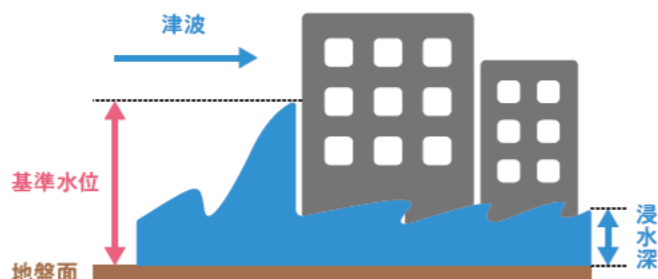


津波災害警戒区域

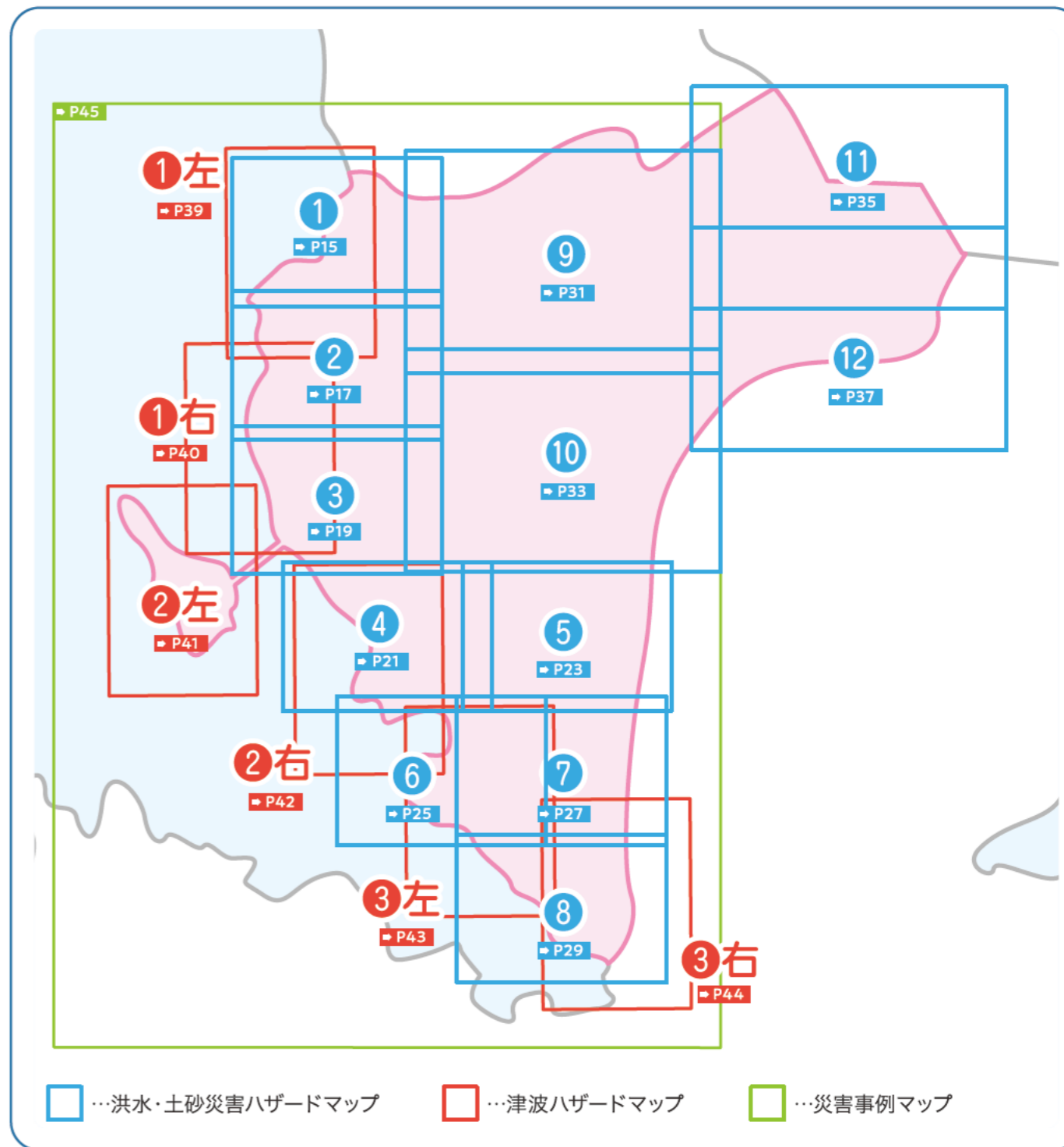
基準水位

「津波浸水想定」をもとに、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域として、長崎県が平成29年3月に作成したものです。

ハザードマップには「基準水位」として示しており、津波浸水想定に定める浸水深に、建物等への衝突によるせき上げ高を考慮した水位を示しています。



索引図



ハザードマップで確認したいポイント

- ! 自宅等のある場所で指定されている洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域など
- ! 避難場所の位置、自宅から避難場所へ向かう経路、避難経路中の危険箇所
- ! 災害時に危険と思われる箇所(河川より低い道路、防護柵のない水路など)
- ! 防災施設(水防倉庫など)

